







- ・経済協力開発機構加盟国 38 か国中、男性は第 9 位、女性は第 7 位

### (3) 学生・生徒等の自殺者数

#### ○警察庁「自殺統計」による自殺者数の推移

- ・平成 21 年から令和元年にかけて、日本の自殺者総数は年々減少している一方、「児童生徒」（「小学生」、「中学生」及び「高校生」）は減少傾向がみられない。
- ・「児童生徒」の自殺者数は、平成 28 年からは増加傾向。令和 3 年は減少したものの、令和元年以前よりも多い状況。
- ・「学生等」（「大学生」及び「専修学校生等」）は、平成 23 年をピークに年々減少。令和元年に増加に転じ、令和 3 年まで増加。

#### ○「児童生徒」及び「学生等」における平成 21 年～令和 3 年の累計月別自殺者数

- ・「児童生徒」・・・自殺の多い月順：「8 月」、「9 月」、「1 月」、少ない月：「12 月」
- ・「学生等」・・・自殺の多い月順：「3 月」、「4 月」、「9 月」、少ない月「8 月」

### (4) 学生・生徒等の自殺の原因・動機

#### ○学生・生徒等の自殺の原因・動機の割合（平成 21 年～令和 3 年）

- ・「小学生」及び「中学生」：自殺の原因・動機において不詳の割合が高い

#### ○「小学生」

- ・「家庭問題」を原因・動機とする割合が高い。次に、「学校問題」となる。
- ・「家庭問題」では、男女ともに「家族からのしつけ・叱責」の割合が高く、女子は「親子関係の不和」がこれに次いで高い。
- ・「学校問題」では、男女ともに「その他学友との不和」の割合が高い。

#### ○「中学生」

- ・「学校問題」を原因・動機とする割合が高く、次に「家庭問題」が続く。
- ・「学校問題」では、男子は「学業不振」、女子は「その他学友との不和」の割合が高い。
- ・「家庭問題」では、男子は「家族からのしつけ・叱責」、女子は「親子関係の不和」の割合が高い。

#### ○「高校生」男子

- ・「学校問題」を原因・動機とする割合が最も高く、不詳を除くと、次に「健康問題」の割合が高い。
- ・「学校問題」では、「学業不振」及び「その他進路の悩み」の割合が高くなっている。

#### ○「高校生」女子

- ・「健康問題」を原因・動機とする割合が最も高く、次に「学校問題」となる。
- ・「健康問題」では、「うつ病」及び「その他の精神疾患」の割合が高い。

#### ○「大学生」及び「専修学校生等」

- ・男性では「学校問題」、「健康問題」の順に、女性では「健康問題」、「学校問題」の順に割合が高い。

## 2 新型コロナウイルス感染症の感染拡大下での変化

### (1) 先進国における状況（先進国 6 か国の 15～24 歳の男女別自殺死亡率の推移について）

- 令和2年の自殺死亡率と、感染拡大前5年間の平均自殺死亡率の比較
  - ・日本及び韓国は男女ともに、大きく上昇
  - ・イギリス、ドイツ、アメリカ及びカナダでは同様の変化はみられない
  
- (2) 学生・生徒等の自殺者数の変化（平成21年～令和元年の学生・生徒等の学校種別・男女別年間自殺者数の変化）
- グラフ上に平成21年～令和元年の回帰直線を示し、令和2年以降もその傾向が続くと仮定
  - ・実際の令和2年及び令和3年の年間自殺者数を比較すると、女子「中学生」、女子「高校生」及び女性「専修学校生等」において、推定される回帰直線を大きく上回った。
  
- (3) 学生・生徒等の自殺の原因・動機の変化（学校の種別・男女別、学生・生徒等の自殺の原因動機別自殺者数の推移）
- 「中学生」女子
  - ・令和元年～令和2年「学校問題」及び「家庭問題」が大きく増加、令和3年は減少したものの、令和元年以前よりも多い状況
- 「高校生」女子
  - ・令和元年～令和2年「健康問題」が大きく増加、令和3年はさらに増加
  - ・「学校問題」は同じく令和2年に大きく増加、令和3年は減少
- 「大学生」女性
  - ・令和元年～令和2年「健康問題」が増加、令和3年はさらに増加
- 「専修学校生等」女性
  - ・令和元年～令和2年「健康問題」が大きく増加、令和3年は減少
  
- 「学校問題」（自殺の原因・動機別（小分類）にみた学生・生徒等の自殺者数）
  - ・男子・男性：令和元年～令和2年にかけて特徴的な変化は見られない。
  - ・女子「中学生」：令和元年～令和2年「学業不振」及び「その他進路に関する悩み」が増加、令和3年は減少。また、令和2年～令和3年「いじめ・学友との不和」が大きく増加。
  - ・女子「高校生」：令和元年～令和2年「その他進路に関する悩み」が大きく増加、令和3年は減少
- 「健康問題」（自殺の原因・動機別（小分類）にみた学生・生徒等の自殺者数）
  - ・男子・男性：令和元年～令和2年にかけて特徴的な変化は見られない。
  - ・女子「高校生」：令和元年～令和2年「うつ病」及び「その他の精神疾患」が増加。
  - ・女性「大学生」：令和元年～令和2年「うつ病」が増加。
  - ・女性「専修学校生等」：令和元年～令和2年「うつ病」が増加、令和3年は減少。

日本では現在、若年層において自殺が他の死因を上回り、国際的に見ても自殺死亡率が高い状況にあります。

平成21年から令和3年までの期間において児童生徒の自殺者数は横ばいあるいは増加傾向にあり、学生等の自殺者数は減少から増加に転じていました。また、原因・動機についてみると、小学生や中学生は、不詳を除くと、小学生は家庭問題、中学生は学校問題が最も高くなっ

ています。高校生、大学生、専修学校生では男子は学校問題、女子は健康問題が最も高くなっています。

本資料では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大下の影響について、「社会全体が大きな影響を受ける中で学生・生徒等が多く時間を過ごす家庭や学校も影響を受けているにもかかわらず、上記調査によると、問題を抱えた際に周囲にその状況を伝えて支援を希求することが難しい状況であるとされている。かねてより SOS の出し方に関する教育の重要性が指摘されてきたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大下において、学生・生徒等が不安定な状況に身を置くことになっている点を考慮し、更なる SOS の出し方に関する教育を推進すると共に、教員や保護者といった周囲の大人が丁寧に SOS を受け止めていく必要がある」とまとめています。

#### 参考文献

『令和 4 年版自殺対策白書』、2022、厚生労働省、  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi\\_kaigo/seikatsuhogo/jisatsu/jisatsuhakusyo2022.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/seikatsuhogo/jisatsu/jisatsuhakusyo2022.html)

#### 【3】お知らせ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

◇ 精神保健福祉センターでは、こころの電話相談を次の時間帯で行っています。

月曜から金曜日	9:00～21:00
土曜日曜祝日（12月29日～1月3日を除く）	10:00～16:00
	Tel : 0570-064-556

※ご相談の電話が集中しますと、つながりにくい状態になりますがご了承ください。

◇ 現在北海道でも、こころの SNS（LINE）相談が開設されています。

詳しくは、下記のリンクをご覧ください。

北海道こころの健康 SNS 相談窓口：<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/shf/linesoudan.html>

◇ ホームページをご覧ください

北海道地域自殺対策推進センターのホームページを開設しています。最新の北海道の状況を掲載しており、より情報を見やすく、分かりやすくお伝えできるよう心がけています。また、Andante のバックナンバーへのリンクもございますので是非ご覧ください。

ホームページ URL：<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/sfc/a0002/>

◇ メールマガジンのご登録内容の変更や解約手続きにつきましては、以下のリンクから行っていただけます。

北海道のメールマガジン URL：<http://www1.hokkaido-jin.jp/mail/magazine/>

#### 【4】編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

北海道では、まだコートが手放せないものの、暖かさを感じる季節となりました。雪も大方溶けて、アスファルトの地面が数ヶ月ぶりに姿を見せました。朝の 10 分間の睡眠のための自転車通勤も解禁され、すっかり春らしく活気づいてきた気がします。

春は出会いと別れの季節ということで、当センターでも何人かの方が異動され、また新たな体制での業務となりそうです。寂しいのはもちろんですが、新しい環境を楽しんでいきたいと思えます。

私たち *Andante* 編集班もいろいろと変更があるかと思いますが、これからも引き続き自殺に関する情報を発信していきますので変わらぬご愛顧よろしくお願ひします。

いつもご愛読ありがとうございます。

次号 Vol.166 は、令和 5 年 4 月末に配信予定です。

\*ご質問、ご要望等お問い合わせ先\*

北海道立精神保健福祉センター  
札幌市白石区本通 16 丁目北 6 番 34 号

Tel 011-864-7121

Fax 011-864-9546

URL <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/sfc/>

Mail [hofuku.seishin1@pref.hokkaido.lg.jp](mailto:hofuku.seishin1@pref.hokkaido.lg.jp)